

開催会議名	令和6年第3回江津警察署協議会		
開催日時	令和6年10月1日（火）午後2時から午後4時まで		
出席者	協議会委員	4人（森野会長、森下委員、吉岡委員、山根委員）	
	警察署	4人（署長、次長、交通課長、総務係長）	
会議・協議	署長からの 諮問	諮問事項	自転車運転マナーの向上方策について
		説明概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車にかかる道路交通法の改正概要 ・ 自転車事故発生状況、ヘルメット着用率の現状 ・ 現在の署の取組内容
	答申(意見等)	<p>1 自転車も道路標識に従わないといけませんが、小学生、ましてや低学年では、標識が分からないのではないかと。</p> <p>高校生でも、標識をよく理解しているとは思えないし、見通しの悪い交差点等の危険認知能力が乏しいように感じる。</p> <p>自転車の運転マナーは小さい頃から教育していかないと、大人になってからも身につかない。</p> <p>2 子供に対する交通安全教育の現状として、学校からの依頼があってから交通安全教育を行っているようであり、各学校によっても安全教育への力の入れ方が違っていたりすることと、市内の学校に対して、効果的な安全教育ができるように警察からも教育委員会に働きかけをするなどしていただきたい。</p> <p>3 学校では、他のカリキュラムもあるし、教師も忙しくて、時間が確保できないというのもあると思う。学校によって、自転車実技指導に差があるのであれば、今の児童は、タブレットを学校から貸し与えられているので、実技教育にこだわらず、映像で視覚に訴える手法を取り入れてもいいのではないかとと思う。</p> <p>また、ゲーム感覚でクイズ形式にすると、一生懸命自分で考えて答えたりするので、そういうのも取り入れてはいいか。</p>	

		<p>4 現在、市では学校の負担を軽減させる仕組みを検討していると聞いたことがある。児童クラブやコミュニティセンター等の地域の力を活用しようというものである。</p> <p>コミュニティースクールとって市が取り組んでいる施策なので、行政や児童クラブ、コミュニティセンター等と連携しての自転車教育を検討していただきたい。</p> <p>5 児童だけでなく、親に対する教養も効果的であると思う。父兄参観の機会を捉え、16歳になって自転車で違反すれば反則切符を切られ、反則金を納めなければならないこと、そうならないよう今のうちから教育が必要であることなどを親に訴えることができれば、より効果的と考える。</p>
	委員からの意見・提言	<p>1 今回の協議会は、会議室ではなく署長室であったが、仰々しくなく、お互いの距離感も近く、とても話しやすい雰囲気であった。</p> <p>2 署長の思いや我々の意見等がよりよく伝わったと感じたので、今後も今日のような形式での開催を検討いただきたい。</p>
視 察 等	<p>試行中の音声ガイダンス電話に対する意見・感想</p> <p>試行期間中に何度か署に電話して音声ガイダンスを聞いていただき、改めて本協議会の席でも試聴いただいた上で、意見・感想を求めた。</p>	
委員からの感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガイダンス電話は時代の流れであり、また、「緊急の事件・事故は110番へ」との案内もあり、音声ガイダンス導入に特段支障はないと思う。 ・ 本運用の際には、アナウンスを機械音声等にすれば、さらに聞き取りやすいものになると思う。 	
そ の 他	<p>本会議開催にあたり、協議会委員と警察署側の距離感を近くし、より活発な意見交換の場となるよう、警察署側からの出席者を厳選し、これまで大会議室で行っていた会議を署長室で行った。</p>	

写

真

